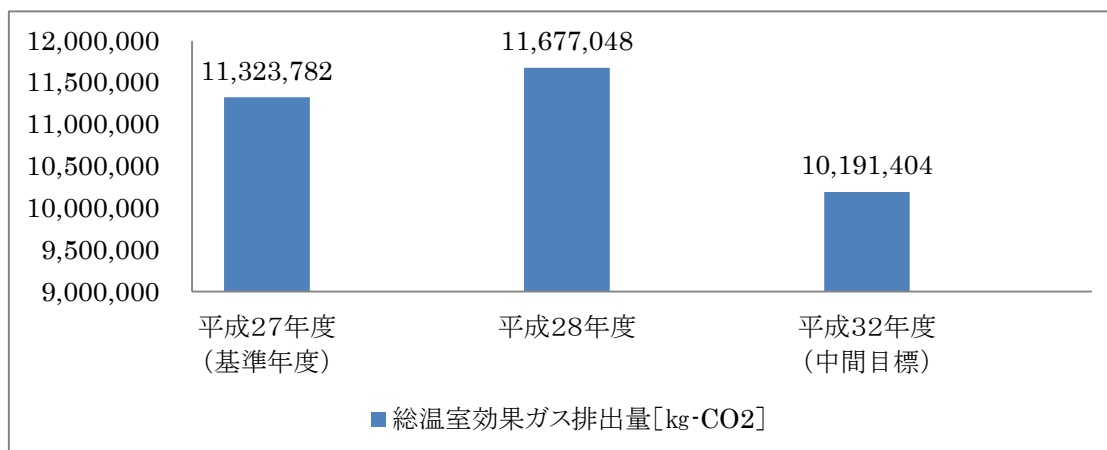


## 平成28年度 五所川原市役所環境保全率先行動計画実績

	平成27年度 (基準年度)	平成28年度	平成32年度 (中間目標)
総温室効果ガス排出量 [kg-CO2]	11,323,782	11,677,048	10,191,404



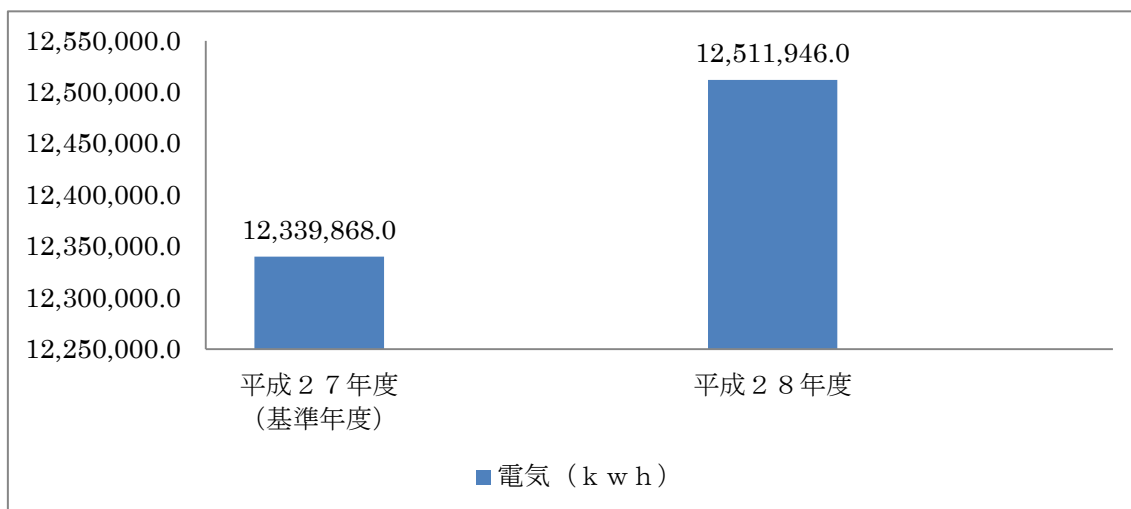
◆ 公用車等の走行距離の減少と低燃費車の導入・更新により、ガソリン・軽油の燃料の使用量は減少したものの、各小中学校の灯油使用量の増加及び学校給食センターの改築により電気の使用量が増加し、基準年比 353,266 [kg-CO2] (3.12%増) となりました。

### 【エネルギー項目別温室効果ガス排出量 [単位 ; kg-CO2]】

	平成27年度 (基準年度)	平成28年度	基準年度対比 (%)
ガソリン	174,006	161,039	△ 7.45
軽油	523,169	420,186	△ 19.68
灯油	2,272,422	2,599,602	14.40
A重油	1,108,586	1,059,520	△ 4.43
LPガス	81,536	96,136	17.91
都市ガス	231,025	315,886	36.73
電気	6,860,967	6,956,642	1.39
ガソリン車走行	6,151	5,139	△ 16.47
ディーゼル車走行	2,241	1,965	△ 12.32
下水道処理量	63,679	60,933	△ 4.31
温室効果ガス排出量計	11,323,782	11,677,048	3.12

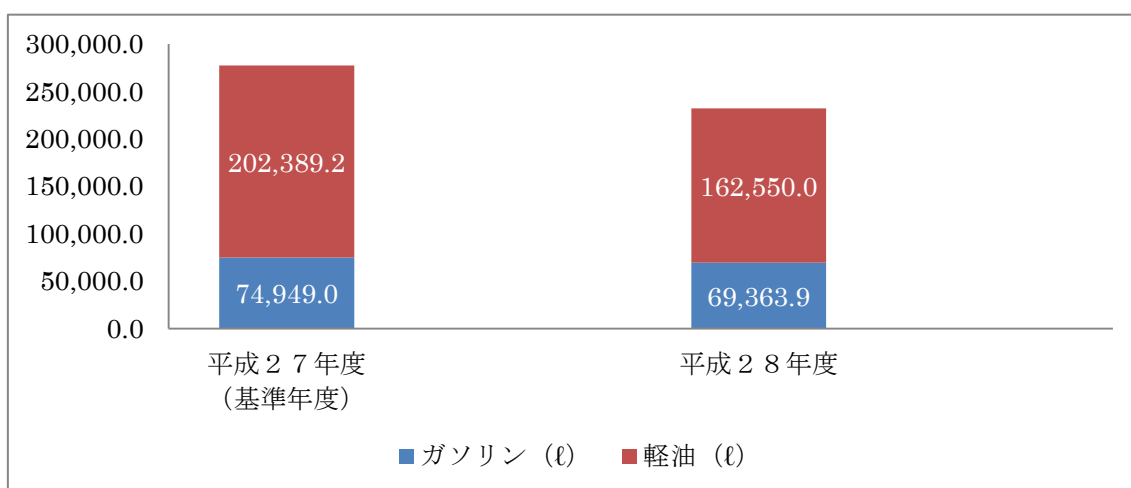
## 【エネルギー項目】

### 1 電気使用量



◆暖房の使用時間や設定温度及びその他の機器類について管理を行ったものの、学校給食センターの増改築により消費電力が増加し、基準年比 172,078 [kwh] (1.39%) の増となりました。

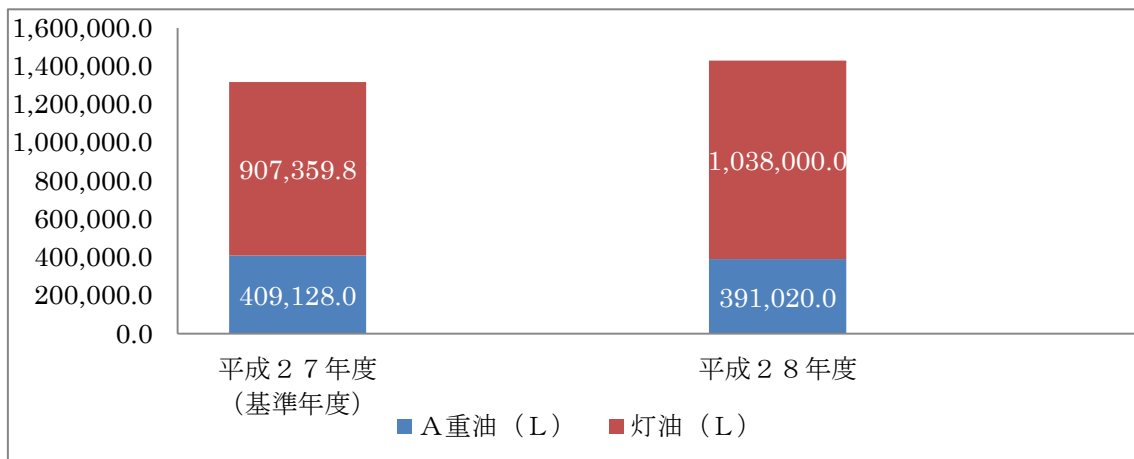
### 2 ガソリン・軽油



◆ガソリンの使用量は、環境に配慮した低燃費車への切り替えが進み、又走行距離の減により、基準年比 5,585.1 [ℓ] (7.45%) の減となりました。

◆軽油の使用量は、基準年比 39,839.2 [ℓ] (19.68%) の大幅減となりました。

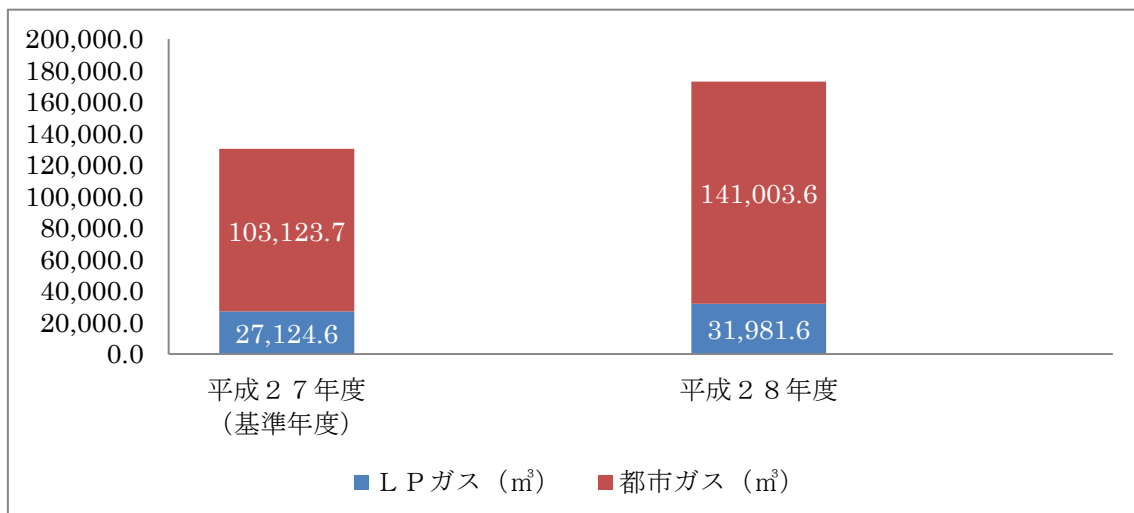
### 3 A重油・灯油



◆灯油の使用量は、暖房の使用時間や温度の設定について管理を行ったものの、小中学校及び学校給食センターの使用量が増加し、基準年比 130,640.2 [ℓ] (14.4%) の大幅増となりました。

◆A重油の使用量は、暖房の使用時間や温度の設定について管理を行い、又学校給食センターのA重油から灯油への変更により使用量が減少し、基準年比 18,108[ℓ] (4.43%) の減となりました。

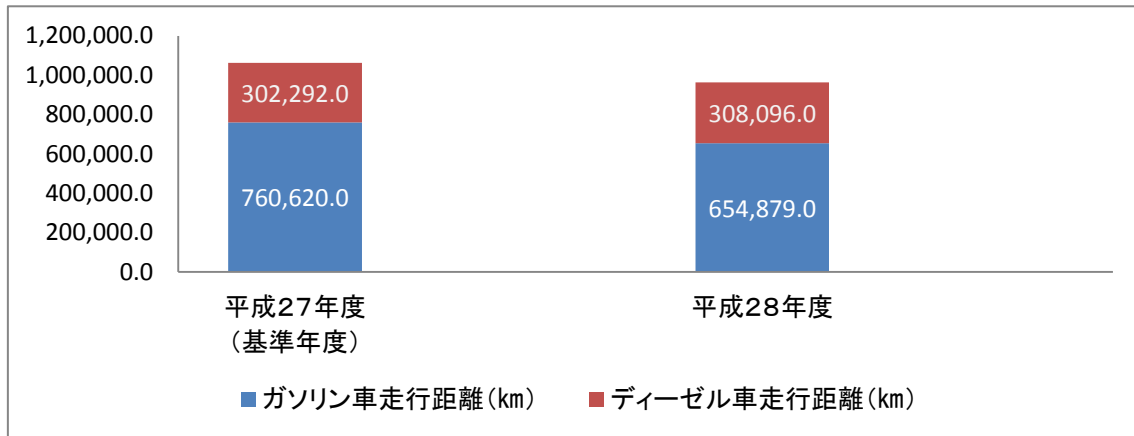
### 4 LPガス・都市ガス



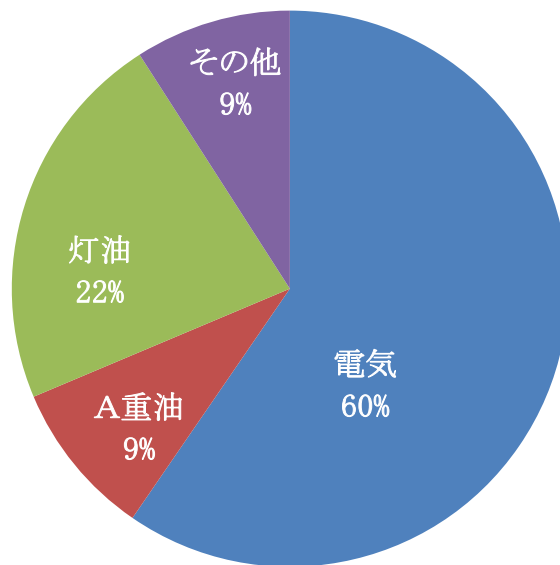
◆LPガスの使用量が増加し、基準年比 4,857 [m³] (17.91%) の増となりました。

◆都市ガスの使用量が増加し、基準年比 37,879.9 [m³] (36.73%) の増となりました。

## 5 ガソリン車・ディーゼル車走行距離

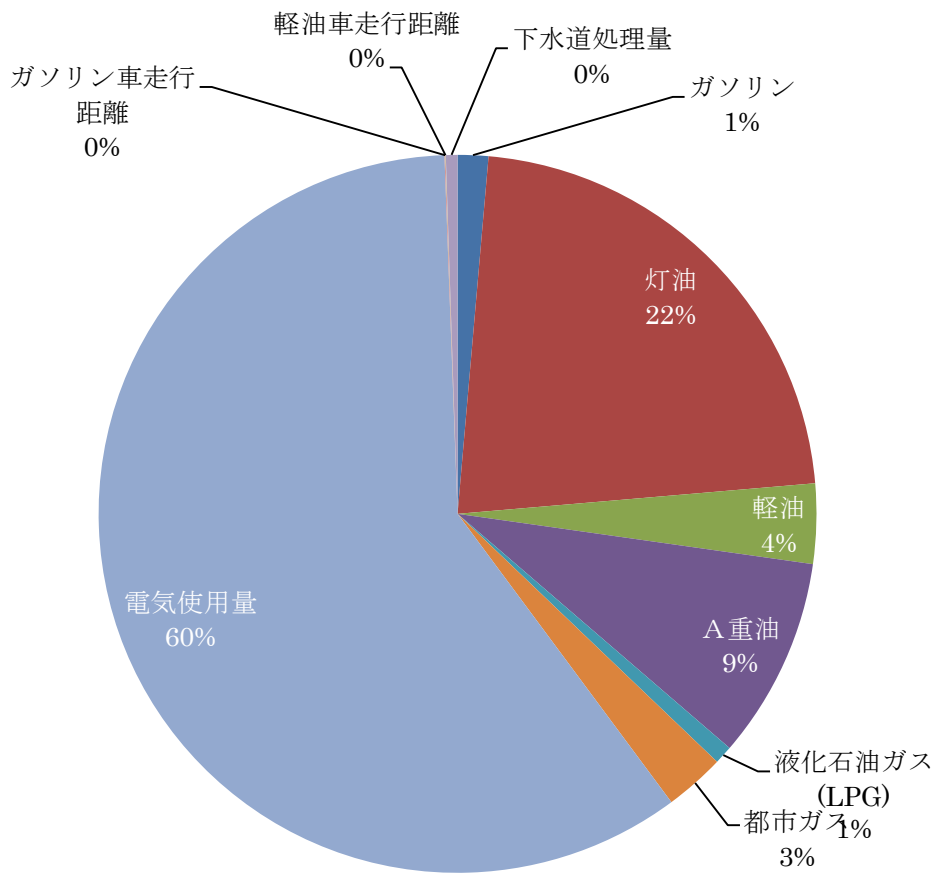


- ◆ガソリン車の使用頻度が減となり、基準年比 105,741 [km] (13.90%) の減となりました。
- ◆ディーゼル車(除雪機を除く)の使用が増え、走行距離が基準年比 5,804[km] (1.92%) の増となりました。

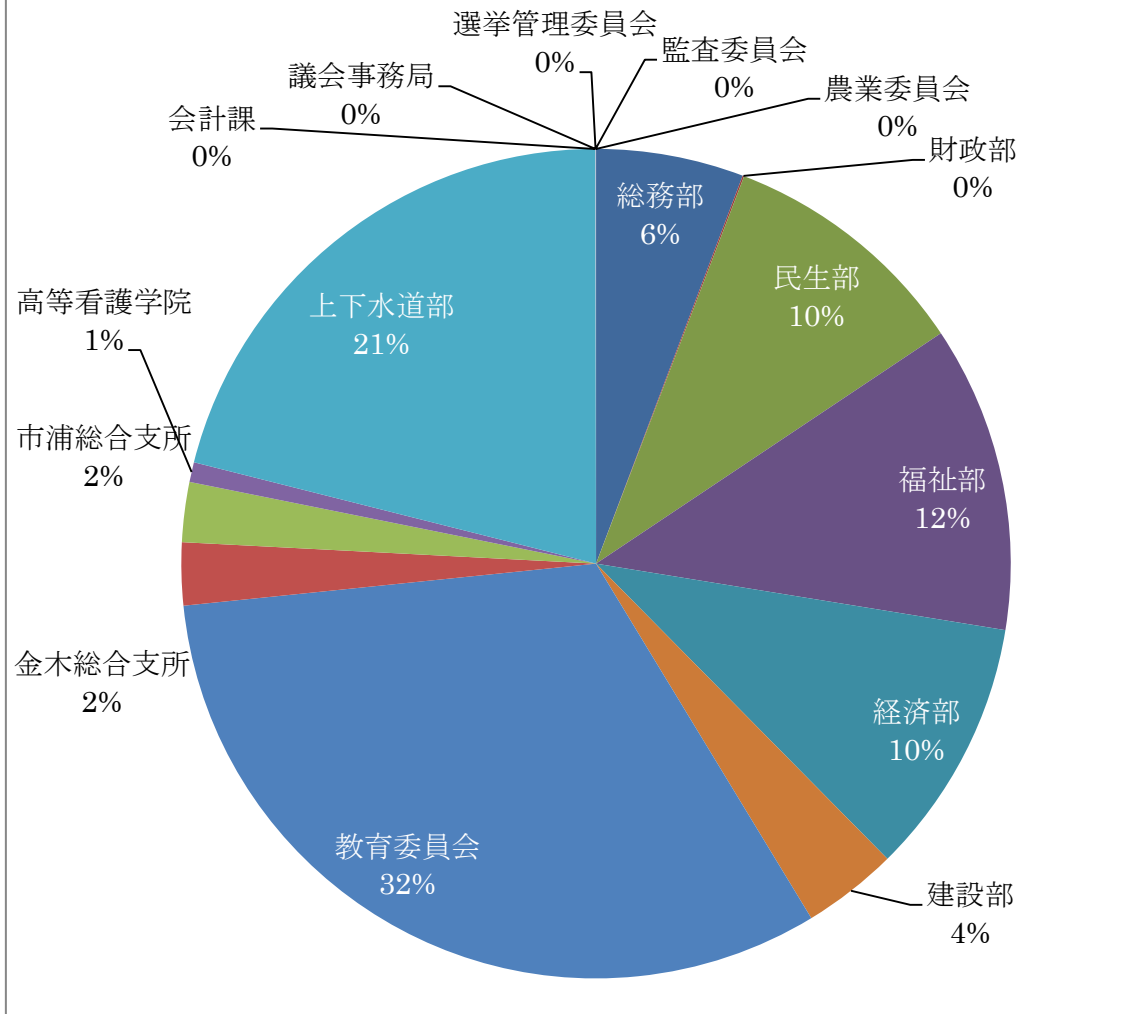


平成28年度 総排出量における燃料及びエネルギーの割合

# 平成28年度 エネルギー項目別温暖化ガス排出比率



## 平成28年度 各部別温室効果ガス排出比率



### 【評価】

平成28年度実績は、施設の増改築により温室効果ガス排出割合の高い電気や灯油の使用量の増加が要因となり、基準年と比べ3.21%の増となりました。

削減目標を達成するためには、施設・設備等の省エネルギー化の推進並びにグリーン購入の推進や職員の環境保全への取組みを高めていく必要があります。